



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2016年4月から2016年12月までにバイオバンクおよび「脳脊髄液検査を用いた統合失調症・気分障害の生物学的マーカーの開発」および本研究の追加説明を受けてご参加いただいた方

【研究課題名】

脳脊髄液メタボローム・プロテオーム解析における採取条件の影響の解析

【研究責任者】

功刀浩（国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第三部）

【本研究の目的及び意義】

分子マーカー（診断・治療の目印）開発の基盤として、脳脊髄液中の分子に対する採取時間や食事の影響を検討するため一定の食事、一定の時間後に採取した脳脊髄液と血液を武田薬品にて質量分析計を用いて解析する。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液、血液

【研究期間】

2016年2月15日 ～ 2020年3月21日

【試料・情報等扱う機関】

武田薬品工業

（問い合わせ窓口）

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail : biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)